

エコアクション 21 認証登録を目指しませんか (社員が誇れる企業になる)

エコアクション 21 とは

- 環境省策定の「環境経営システム」認証・登録制度です。
- この「環境経営システム」は、本業を通じた環境への取組により、事業者自らと社会の持続的な成長を実現することを目的としています。
- 環境経営に重要な要素（環境と経営を融合した戦略立案、組織体制の確立、人材教育、環境面の法令などの遵守、環境コミュニケーションの促進など）を組み込んでいます。

エコアクション 21 の特徴

- 中小事業者でも取り組みやすい効果的・効率的な PDCA サイクル
これは、中堅・中小企業の実務負担にも配慮した、取り組みやすい環境経営の継続的改善を目的とした PDCA サイクルです。
- 環境経営レポートの作成と公表により活発なコミュニケーションと透明性の向上を促進
この環境経営レポートは、取引先、従業員、その家族、自治体などへ自らが環境に配慮した事業者であることを PR するための最良のツールになります。



エコアクション 21 に取り組むメリット

①社内の意識が成長する

企業の共通課題として取り組むため、ある企業では、社内の意識が成長し、社員自ら環境負荷を下げるための提案をするようになり、自ら考えて動くようになりましたという報告も頂いています。

②経営面での効果

環境経営システムの PDCA サイクルを構築し継続的に改善していくことにより、環境面だけでなく、経費の削減、生産性の向上、利益率の向上、目標管理の徹底など経営面での効果が期待できます。

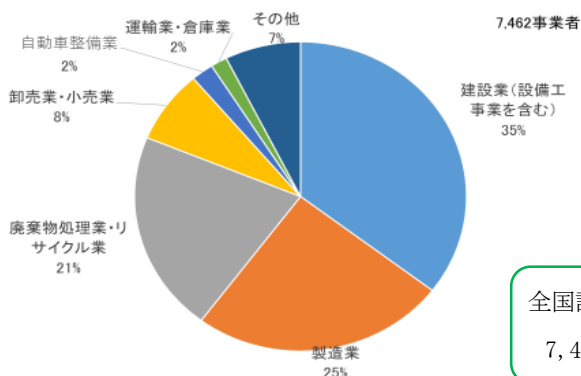
③取引条件への対応/ビジネスチャンスの拡大

- 大手企業が取引先に求める環境経営に対応できます。
- 兵庫県建設工事等入札参加資格審査での環境負荷削減活動の加点評価
○建設工事：16 点 ○測量・建設コンサルタント等業務：2 点
- 建設業者に係る経営事項審査の加点対象にエコアクション 21（3 点）が追加されました。（2023 年度）
- 優良産廃処理業者認定取得のための「環境配慮の取組」要件を満たします。

④金融機関融資の優遇

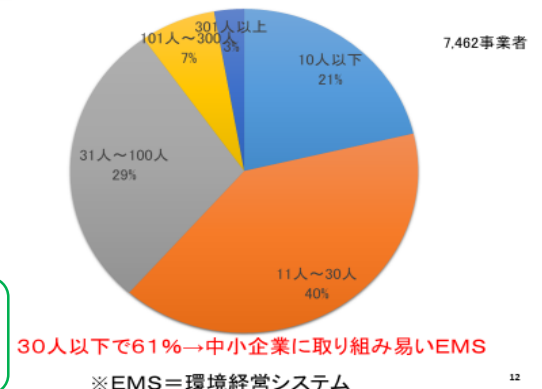
- 多くの金融機関で認証・登録事業者へ貸出金利が優遇されます。

資料1 全国のEA21認証登録件数の業種別割合(2022/12/31)



全国認証登録事業者数
7,462(2022/12/31)

資料2 全国のEA21認証登録件数の規模別割合(2022/12/31)



30人以下で61%→中小企業に取り組みやすいEMS

※EMS=環境経営システム

さまざまな業種・規模の事業者がエコアクション 21 に取り組んでいます。



エコアクション21認証・登録事業者様の声

エコアクション21の審査等に関するアンケート（2022/7～）より

§ 環境経営のメリット

- 環境活動を行うにあたって具体的な目標設定や現状について数値として可視化されることで従業員の環境活動への意識向上に非常に役立っていると感じる。
- エコアクション21のための書類整理の中で継続的なデータを分析していると、ひと月ひと月のデータでは感じられない変化や問題点を考えるきっかけとなり非常に有意義である。
- 審査に向け、自社の取組を数値化し、環境経営レポートとしてまとめる一連の作業は、客観的に判断する機会となっている。
- エコアクションの取り組みが、業務において意識改革につながっています。業務を早く進めがちでしたが、作業手順を検討・助言・確定により着手し、軌道修正を行うことができ、業務の効率化（ミスの回避）につながっています。

§ 地球環境保護のために

- 脱炭素等へ向けた試みを大きく進めなければならない状況下で、やはり各事業所単位で環境経営に取り組むことが一層強く求められており、エコアクション21の目標設定・PDCAサイクルの実践は、この要求へ応える際の具体的で効果的な手段であると認識している。
- 全社員が地球環境保護のために、環境負荷の低減（電気・水道・ガソリン等の使用量の削減、工事で発生した産業廃棄物の分別等）を心掛けた行動ができています。

§ ビジネスへのメリット

- エコアクションに取り組むことで、お客様への省エネ住宅の提案に具体性をもつことができるのが最大のメリットと感じます。

§ 社員教育に役立つ

- 環境経営活動について、コンプライアンスを遵守することの重要性が社内の教育として役立っている。
- 工事現場の現場管理において関係する法令が多くあるため、エコアクション活動、教育を通じて日々の業務に活かしている。

§ サプライチェーン

- 弊社のような零細企業でCO₂排出量を把握していることのメリットは非常に大きいと感じています。今後、立ち遅れている繊維業界の大手様でもサプライチェーン排出量の把握を多くの企業が行うと思いますので、その時は即対応が可能な状態で信頼も得られると考えます。
- 環境に取り組む指標として、多くの顧客よりISO14001やエコアクションの取得要求される機会が近年多くなり、取得・維持の必要性を実感している。

§ 家庭への波及

- 環境問題や省エネルギーに対しての意識改革が会社内だけでなく家庭でも行われるように見え、大変良いことだと感じています。買い物時にはマイバッグを持参します。不必要時には照明器具のスイッチを切るなどして、できることを行います。

§ 審査について

- 堅苦しくない審査方法であり、良い形で意見交換ができたと思います。